

FISHING トピック No.16

むらさきがわちゅうりゅう かわづ い ものちょうさ 紫 川 中 流 で川釣りと生き物調査

真夏の日差しにも負けず、向日葵が元気に咲く今日この頃…。来年度のMFCの下見へ紫川中流（桜橋上流）に出かけました。今回は“川釣り”と“生き物調査”を中心に現地を下見！まずは…川釣り。数日前の大雨で少し水量が多い中、釣れるか不安に思いつつ仕掛けを投入！川の流れに合わせてエサを漂わせていると…オイカワがヒット！その後はアタリがあるものの魚は釣り上げられず釣り終了。釣果はオイカワ2匹！川釣りの難しさを痛感した1日でした。

さて、今回釣り上げた魚『オイカワ』は北陸から九州の河川に広く分布する淡水魚です。ハエ・シラバエ・ヤマベなど様々な呼び方をされます。また、ウグイやカワムツなどの日本に暮らす中型で細長い体型をしたコイ科の淡水魚を総称したハヤと呼ばれることもあります。流れの緩やかな場所によく見かけられ、藻や昆虫などを食べる雑食性として知られています。一見地味な魚に見えますが、春から夏にかけての繁殖期になるとオスは鮮やかな青い婚姻色が現れます。みなさんもセミの鳴き声を聞きながら川釣りをしてみてもいいですね！



続いて生き物調査。サデ網で水草の陰や石の下などに隠れている生き物を足で驚かせておびき出して捕まえる『ガサガサ』で様々な生き物を捕まえました。オイカワは勿論のことカワムツ・ムギツクイトモロコ・カマツカ・ギンブナなど。来年度のMFCでも、たくさんの生き物に出会えることでしょうか！今回、見つけれなかった生き物にも遭遇するかも？これから迎える夏本番。みなさんも川に遊びに出かけてみてはいかがでしょうか！ただ、

川流れにも挑戦！

遊びに行く時は2人以上そして大人と一緒に行くようにしましょう。毎年、川での水難事故が発生しています。流れの緩やかな浅瀬で遊んでいる時は殆ど危険を感じることはありませんが…水深の深い場所や流れの早い場所など「ちょっと危なそう」と思ったところへ行くと大きな落とし穴が待ち受けているかもしれません。川は釣り・生き物観察・水遊びなど大自然ならではの楽しみ方ができる素晴らしい場所ですが、裏側に隠れてある危険性をしっかりと把握して頭に入れておくことが重要です。楽しく、そして安全に遊ぶために事前に注意することを調べておくようにしましょう！



作成日：令和4年7月25日